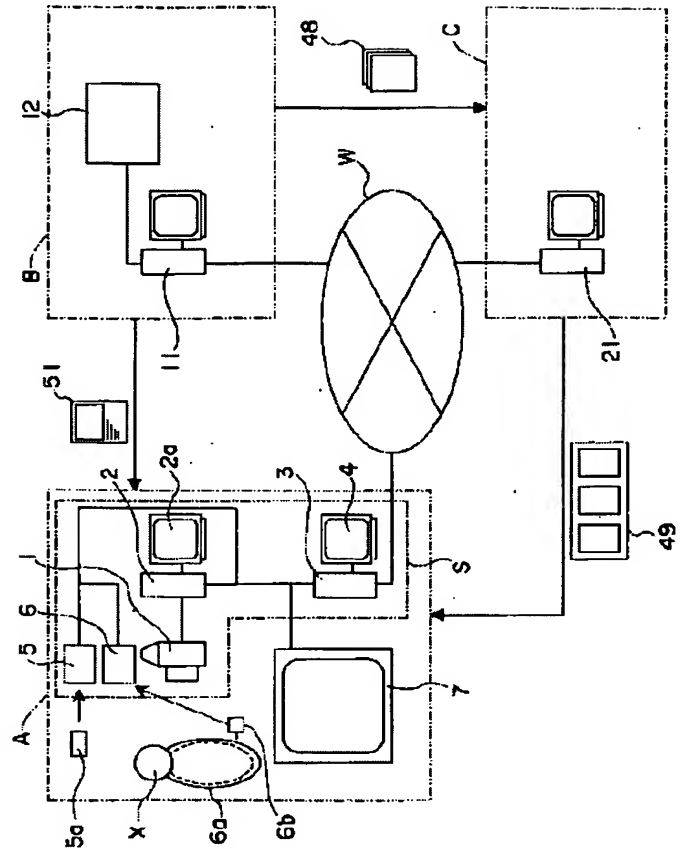


# Patent Abstracts of Japan

TITLE : PHOTOGRAPHING APPLICATION  
METHOD, PHOTOGRAPHING  
APPLICATION PROGRAM AND PHOTO  
PRINT GENERATING METHOD



**SOLUTION:** In the photographing reception method, when a photo studio A photographs a customer X, a digital camera 1 photographs a digital image of the object of the customer X to which a customer ID 32 is provided for identification and discrimination of the customer in advance, records the digital image to an image server 2 in cross reference with the customer ID 32, a PC monitor 4 displays the digital image recorded in the image server 2, best shot images 41b, 41c, 41d are selected from among displayed images, and order information is generated by cross-referencing information of the selected best shot images 41b, 41c, 41d with the customer ID 32.

BNSDOCID: <JP\_\_\_\_\_2003037798A AJ >

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2003-37798  
(P2003-37798A)

(43) 公開日 平成15年2月7日 (2003.2.7)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
H 0 4 N 5/76		H 0 4 N 5/76	E 2 H 1 0 6
G 0 3 B 27/46		G 0 3 B 27/46	B 5 C 0 5 2
G 0 6 F 17/60	1 2 4	G 0 6 F 17/60	1 2 4 5 C 0 5 3
H 0 4 N 5/91		H 0 4 N 7/18	U 5 C 0 5 4
7/18		5/91	H
審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 13 頁)			

(21) 出願番号 特願2001-226147 (P2001-226147)

(22) 出願日 平成13年7月26日 (2001.7.26)

(71) 出願人 000136376

株式会社フジカラーサービス  
東京都調布市柴崎1丁目67番地1

(72) 発明者 中西 聡

東京都調布市柴崎1丁目67番1号株式会社  
フジカラーサービス内

(74) 代理人 100082670

弁理士 西脇 民雄 (外1名)

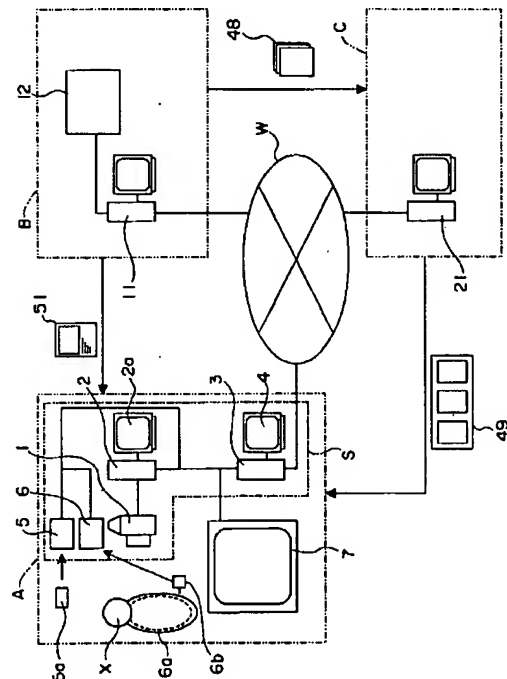
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 写真撮影受付方法、写真撮影受付プログラム及び写真プリント作成方法

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、顧客によって選択された画像を確実に特定でき、かつ注文書を作成する手間や時間を削減できて注文ミスを防止できるとともに顧客に写真を渡すまでの納期を短縮することができ、さらにバリエーションプリントが注文された場合でも納期が多くかからない写真撮影受付方法、写真撮影受付プログラム、及びその写真撮影の受付に基づいて写真プリントを作成する写真プリント作成方法を提供することを課題とする。

【解決手段】 この写真撮影受付方法は、写真館Aにおいて顧客Xの写真撮影を行う際に、予め顧客を特定して識別するための顧客ID32が付与されたその顧客Xを被写体としてデジタルカメラ1によってデジタル画像の撮影を行うとともにデジタル画像を顧客ID32に関連付けて画像サーバ2に記録し、画像サーバ2に記録されたデジタル画像をPCモニタ4に表示し、表示されたデジタル画像の中からベストショット画像41b、41c、41dを選択し、選択されたベストショット41b、41c、41dの情報を顧客ID32に関連付けてオーダー情報を作成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】写真撮影所において顧客の写真撮影を行う際に、

予め顧客を特定して識別するための顧客識別符号が付与されたその顧客を被写体としてデジタル画像撮影手段によってデジタル画像の撮影を行うとともに該デジタル画像を前記顧客識別符号に関連付けて画像記録手段に記録し、  
該画像記録手段に記録された前記デジタル画像を表示手段に表示し、表示された前記デジタル画像の中から所望のデジタル画像を選択し、該選択されたデジタル画像の情報と前記顧客識別符号とが関連付けられて構成されるオーダ情報を作成することを特徴とする写真撮影受付方法。

【請求項 2】予め保存手段に保存され、かつ、前記選択されたデジタル画像の周囲を装飾する写真装飾枠画像を前記表示手段に表示し、表示された該写真装飾枠画像の中から所望の写真装飾枠画像を選択し、前記選択されたデジタル画像を前記選択された写真装飾枠画像に前記表示手段上で位置調整しつつ嵌め込んで嵌め込み画像を作成することを特徴とする請求項 1 に記載の写真撮影受付方法。

【請求項 3】前記嵌め込み画像の情報から、前記選択されたデジタル画像を前記選択された写真装飾枠画像に嵌め込んだ際の嵌め込み位置を示すレイアウト情報を作成し、該レイアウト情報を前記顧客識別符号に関連付けつつ前記オーダ情報に含ませることを特徴とする請求項 2 に記載の写真撮影受付方法。

【請求項 4】前記選択された写真装飾枠画像の情報から前記顧客の写真撮影料金を示す料金情報を作成し、該料金情報を前記顧客識別符号に関連付けつつ前記オーダ情報に含ませることを特徴とする請求項 2 又は請求項 3 に記載の写真撮影受付方法。

【請求項 5】写真撮影に際して顧客が着用する衣装に、衣装を特定して識別するための衣装識別符号が予め付与され、前記顧客が前記衣装を着用して撮影を行う際にその衣装識別符号を衣装識別符号検出手段によって検出することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のうちいずれか 1 項に記載の写真撮影受付方法。

【請求項 6】前記顧客識別符号が、RFIDタグ、ICカード、磁気カード、バーコードカードのうちいずれか一のものに記録されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のうちいずれか 1 項に記載の写真撮影受付方法。

【請求項 7】請求項 1 乃至請求項 6 のうちいずれか 1 項に記載の写真撮影受付方法によって作成された前記オーダ情報を、インターネットを介して現像所のWebサーバに向けて送信手段により送信し、  
前記Webサーバに向けて送信された前記オーダ情報に基づいて前記現像所において写真プリント作成装置によ

って写真プリントを作成することを特徴とする写真プリント作成方法。

【請求項 8】コンピュータを、

予め顧客を特定して識別するための顧客識別符号が付与されたその顧客を被写体としてデジタル撮影を行った場合に、撮影されたデジタル画像の中から前記顧客によって選択されたデジタル画像を表示手段に表示させるデジタル画像表示手段、

予め保存手段に保存され、かつ、前記選択されたデジタル画像の周囲を装飾する写真装飾枠画像を前記表示手段に表示させる写真装飾枠画像表示手段、

前記選択されたデジタル画像を前記選択された写真装飾枠画像に前記表示手段上で位置調整しつつ嵌め込んで嵌め込み画像を作成する嵌め込み画像作成手段、前記選択されたデジタル画像を前記選択された写真装飾枠画像に嵌め込んだ際の嵌め込み位置を示すレイアウト情報を作成するレイアウト情報作成手段、及び、前記選択されたデジタル画像の情報と前記レイアウト情報と前記顧客識別符号とが関連付けられて構成されるオーダ情報を作成するオーダ情報作成手段として機能させることを特徴とする写真撮影受付プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、写真館や写真スタジオ等の写真撮影所において顧客のデジタル撮影を行う際の写真撮影受付方法、写真撮影受付プログラム、及びその写真撮影の受付に基づいて写真プリントを作成する写真プリント作成方法に関する。

【0002】

【従来の技術】成人式や家族写真等の記念写真の撮影は写真撮影所（いわゆる写真館や写真スタジオ）において行われる。高品質の美しい記念写真撮影を行うため、この写真撮影所にはカメラ等の写真機材や照明機材の他に撮影用のステージや背景も用意されている。また、顧客が様々な衣装を着用して記念写真の撮影が行えるように、着替え用の衣装を用意している写真撮影所も多い。

【0003】従来、写真撮影所では銀塩方式の写真フィルムを用いて記念写真撮影を行っている。銀塩方式の写真フィルムは、画像の解像度・粒状性・色調等に優れており、顧客が高品質で美しい写真画像を期待する記念写真等の写真撮影に適したものである。この写真フィルムは現像が完了するまでその撮影画像が確認できないので、写真撮影所では、撮影ミスに備えるとともに顧客が満足できる写真を実際に提供すべく、同様のポーズでの写真を数枚から数十枚分撮影する。

【0004】しかしながら例えば数十枚の撮影を行っても、現像が完了するまで顧客は撮影画像が満足できるものかどうか分からない状態で数日待たなければならぬ。数日後、現像が完了した写真を顧客が確認した際に、顧客が満足できるものでない場合にはさらに撮り直

しを行うことにもなり、顧客が満足できる写真が得られるまでに多大な日数がかかる場合があった。写真撮影所においても、そのために費やす手間と費用とは多大なものであった。

【0005】そこで近年、写真撮影所では、写真フィルムによる撮影とデジタルカメラでの撮影とを同時に行う方法がとられている。この方法は、写真撮影を行う際に、写真フィルムを用いるカメラ（以下「フィルムカメラ」という）とデジタルカメラとをその撮影画角を略同じにして、両方のカメラを同期させて同時に撮影するものである。

【0006】この方法によれば、デジタルカメラによって撮影されたデジタル画像をデジタル画像再生装置によってその場ですぐに確認することができる。このデジタル画像はフィルムカメラで撮影されたフィルム画像と略同じ画像であるので、顧客はその場ですぐに撮影画像を確認できることになり、記念写真の出来上りを安心して待つことができる。同様のポーズの写真を数枚撮影したような場合は、その数枚の中から気に入った表情やポーズのものを顧客がその場で選択することもでき、後に撮り直しをすることも殆どない。この方法では、写真撮影所での撮影画像の確認にはデジタル画像を用いているが、実際の記念写真の写真プリント作成には解像度・粒状性・色調等において優れた写真フィルムの画像を用いている。したがって、写真撮影所において写真プリントの作成を現像所へ依頼する注文書を作成する際に、選択されたデジタル画像とそれに対応するフィルム画像との対応付けを間違いなく行って、写真プリントの作成を依頼するフィルム画像を正確に特定する必要がある。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、写真撮影所においては手書きにより注文書を作成しているため、選択されたデジタル画像に対応するフィルム画像の特定にミスが発生する場合がある。特に、同様のポーズの写真の数枚撮影したような場合は似通った画像が複数枚存在してしまうため、その複数枚の中から写真プリント作成を依頼するフィルム画像を特定するのは困難である。

【0008】フィルムカメラは、撮影順に写真フィルム上に撮影画像の露光を行うが、顧客が衣装を様々に着替えて撮影を行う際には、衣装を着替えている間に別の顧客が撮影を行う場合もある。その場合、一の顧客の連続する撮影画像の間に別の顧客の撮影画像が混ざってしまうので写真プリントを依頼するフィルム画像の特定はより困難となる。

【0009】写真プリント作成を依頼するフィルム画像の特定をより確実なものとするべく、注文書には例えば、「写真プリント作成を依頼する画像は『ランドセルを背負った子供が右脚を少し前に出している画像』である。」等の画像の詳細な特徴を記載する。しかし、その

注文書の作成に時間がかかってしまうため、現像所に注文書や撮影済みフィルムを配送するのが遅くなってしまふ。現像所は、写真撮影所から配送されてきた注文書に記載された画像の詳細な特徴に基づいて現像が完了した写真フィルムの画像の中からその特徴に最も合致したフィルム画像を特定して写真プリント作成を行う。しかし、その画像の特定は確実なものとはいえず、またその画像特定作業が複雑で時間もかかってしまい、結果的に写真プリント作成が遅くなってしまふ。さらに顧客が例えばデジタルポストカードや写真カレンダー等のバリエーションプリントを同時に注文したような場合は、記念写真用の写真プリント作成完了後でないと写真フィルムをバリエーションプリントに用いることができない。したがって、このような場合は顧客が写真撮影所で写真撮影を行ってから記念写真やバリエーションプリントを受け取るまでにより多くの日数がかかってしまふ。

【0010】本発明は上記の事情に鑑みて為されたもので、顧客によって選択された画像を確実に特定でき、かつ、注文書を作成する手間や時間を削減できて注文ミスを防止できるとともに顧客に写真を渡すまでの納期を短縮することができ、さらにバリエーションプリントが注文された場合でも納期が多くかからない写真撮影受付方法、写真撮影受付システム、写真撮影受付プログラム、及びその写真撮影の受付に基づいて写真プリントを作成する写真プリント作成方法を提供することを課題とする。なお本発明が為されたことの背景には、近年のデジタルカメラでの撮影がフィルムカメラでの撮影に比べて画像の解像度・粒状性・色調等において遜色ないレベルにまで向上してきていることがある。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、請求項1に記載の写真撮影受付方法は、写真撮影所において顧客の写真撮影を行う際に、予め顧客を特定して識別するための顧客識別符号が付与されたその顧客を被写体としてデジタル画像撮影手段によってデジタル画像の撮影を行うとともにデジタル画像を顧客識別符号に関連付けて画像記録手段に記録し、画像記録手段に記録されたデジタル画像を表示手段に表示し、表示されたデジタル画像の中から所望のデジタル画像を選択し、選択されたデジタル画像の情報と顧客識別符号とが関連付けられて構成されるオーダ情報を作成することを特徴とする。請求項2に記載の写真撮影受付方法は、請求項1に記載の写真撮影受付方法において、予め保存手段に保存され、かつ、選択されたデジタル画像の周囲を装飾する写真装飾枠画像を表示手段に表示し、表示された写真装飾枠画像の中から所望の写真装飾枠画像を選択し、選択されたデジタル画像を選択された写真装飾枠画像に表示手段上で位置調整しつつ嵌め込んで嵌め込み画像を作成することを特徴とする。請求項3に記載の写真撮影受付方法は、請求項2に記載の写真撮影受付方法におい

て、嵌め込み画像の情報から、選択されたデジタル画像を選択された写真装飾枠画像に嵌め込んだ際の嵌め込み位置を示すレイアウト情報を作成し、レイアウト情報を顧客識別符号に関連付けつつオーダ情報に含ませることを特徴とする。

【0012】請求項4に記載の写真撮影受付方法は、請求項2又は請求項3に記載の写真撮影受付方法において、選択された写真装飾枠画像の情報から顧客の写真撮影料金を示す料金情報を作成し、料金情報を顧客識別符号に関連付けつつオーダ情報に含ませることを特徴とする。

【0013】請求項5に記載の写真撮影受付方法は、請求項1乃至請求項4のうちいずれか1項に記載の写真撮影受付方法において、写真撮影に際して顧客が着用する衣装に、衣装を特定して識別するための衣装識別符号が予め付与され、顧客が衣装を着用して撮影を行う際にその衣装識別符号を衣装識別符号検出手段によって検出することを特徴とする。

【0014】請求項6に記載の写真撮影受付方法は、請求項1乃至請求項5のうちいずれか1項に記載の写真撮影受付方法において、顧客識別符号が、RFIDタグ、ICカード、磁気カード、バーコードカードのうちいずれか一のものに記録されていることを特徴とする。請求項7に記載の写真プリント作成方法は、請求項1乃至請求項6のうちいずれか1項に記載の写真撮影受付方法によって作成されたオーダ情報を、インターネットを介して現像所のWebサーバに向けて送信手段により送信し、Webサーバに向けて送信されたオーダ情報に基づいて現像所において写真プリント作成装置によって写真プリントを作成することを特徴とする。

【0015】請求項8に記載の写真撮影受付プログラムは、コンピュータを、予め顧客を特定して識別するための顧客識別符号が付与されたその顧客を被写体としてデジタル撮影を行った場合に、撮影されたデジタル画像の中から顧客によって選択されたデジタル画像を表示手段に表示させるデジタル画像表示手段、予め保存手段に保存され、かつ、選択されたデジタル画像の周囲を装飾する写真装飾枠画像を表示手段に表示させる写真装飾枠画像表示手段、選択されたデジタル画像を選択された写真装飾枠画像に表示手段上で位置調整しつつ嵌め込んで嵌め込み画像を作成する嵌め込み画像作成手段、選択されたデジタル画像を選択された写真装飾枠画像に嵌め込んだ際の嵌め込み位置を示すレイアウト情報を作成するレイアウト情報作成手段、及び、選択されたデジタル画像の情報とレイアウト情報と顧客識別符号とが関連付けられて構成されるオーダ情報を作成するオーダ情報作成手段として機能させることを特徴とする。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面に基づいて説明する。【実施の形態1】図1は本発明の実施の形態に

かかる写真プリント作成方法に用いられるシステムの概略構成を示す図である。図1において、Aはいわゆる写真館（写真撮影所）、Bは写真プリントを作成する現像所、Cは現像所で作成された写真プリントを台紙に貼り付けて台紙付き記念写真を作成する加工センターである。

【0017】写真館Aには、写真撮影用の撮影手段としてのデジタルカメラ1、画像記録手段としての画像サーバ2、管理サーバ3、表示手段としてのPCモニタ4、顧客識別符号検出手段としてのICカードリーダ5、衣装識別符号検出手段としての電波送受信機6が備えられ、図に示すように接続されて写真撮影受付システムSを構成している。写真撮影所には、撮影されたデジタル画像を大きく拡大して表示するための大画面モニタ7も備えられている。

【0018】デジタルカメラ1は、撮影を希望する顧客Xを被写体としてデジタル画像の撮影を行うもので、内部にCCD素子・画像処理回路・画像メモリ等を有しているがその構成は公知であるので省略する。

【0019】画像サーバ2は、デジタルカメラ1で撮影されたデジタル画像（撮影画像）を記録・保存するためのものであり、例えばハードディスク、光磁気ディスク（MO）、DVD-RAM等の記録媒体が用いられる。画像サーバ2は、デジタルカメラ1と接続され、撮影画像を画面上で確認できるように画像モニタ2aも接続されている。

【0020】管理サーバ3は、この写真撮影受付システム全体を統合的に制御するためのもので、画像サーバ2、ICカードリーダ5、電波送受信機6、大画面モニタ7と接続され、インターネットWにも接続可能となっている。この管理サーバ3にはハードディスクが備えられ、後述する写真撮影受付プログラムが格納されてこの管理サーバ3に接続されたPCモニタ4や大画面モニタ7で撮影画像を確認しながら所望画像の選択が行えるようになっている。また、送信手段によりインターネットWを介して撮影画像やオーダ情報等を現像所BのWebサーバ11に向けて送信することが可能となっているが詳細は後述する。

【0021】ICカードリーダ5は、顧客Xに予め付与された顧客識別符号としての顧客IDを検出するためのものである。その顧客IDはICカード5aに記録されており、顧客Xが写真館Aに来店した際に顧客に渡される。顧客Xは撮影の際にそのICカード5aをICカードリーダ5に挿入する。

【0022】電波送受信機6は、電波を発しつつその検出範囲内にRFIDタグ6bがあるか否かを探索し、検出範囲内にRFIDタグ6bがある場合にそのRFIDタグ6bに記録されている衣装識別符号としてのタグナンバーを検出するものである。このRFIDタグ6bは例えば硬貨程度の大きさの盤状形態のもの、シール状形

態で貼付が可能なもの、マッチ棒程度の大きさの棒状形態のもの等様々な形態で提供される小型のICチップであり、1枚毎に異なるタグナンバーが書き換え可能に記録されている。写真館Aに用意されている撮影用の衣装6aにはそれぞれ異なるタグナンバーが記録されたRFIDタグ6bが装着され、顧客Xが衣装6aを身に付けて写真撮影を行う際に、この電波送受信機6によって顧客Xがどの衣装を身に付けて写真撮影を行っているかを検出できるようになっている。

【0023】大画面モニタ7は、顧客Xが撮影画像から容易に所望の画像を選択できるようにするためのもので、例えば29インチの大型テレビモニタ等が用いられる。この大画面モニタ7は、画像サーバ2、管理サーバ3と接続されていて、画像モニタ2aやPCモニタ4に表示された画面と同じ画面を表示できるようになっている。この大画面モニタ7が複数設置されて、管理サーバ3からの指示に基づいてそれぞれ異なる画面表示がされるようになっていてももちろんよい。

【0024】現像所Bには、Webサーバ11が備えられており、このWebサーバ11はインターネットWに接続されて、インターネットWを介して写真館Aの管理サーバ3や加工センターCのパソコン21からアクセス可能となっている。Webサーバ11には、写真プリント作成装置としての写真プリンタ12も接続されていて、管理サーバ3から送信されたオーダ情報に基づいて写真プリントを作成することができるようになっている。

【0025】加工センターCは、顧客が台紙付き記念写真を注文した場合に、現像所Bで作成された写真プリントの台紙への貼り付け加工を行う。その加工センターCには、インターネットWに接続可能なパソコン21が備えられている。

【0026】次に、この写真プリント作成方法を図2及び図3に示すフローチャートを参照しつつ説明する。以下、図4～図12までは、写真撮影受付プログラムにおける表示画面である。

【0027】顧客Xから写真館Aに記念写真の撮影予約が入ると（S. 1）、写真館Aでは、管理サーバ3内の写真撮影受付プログラムの顧客データ登録画面23に顧客Xの名前31等の顧客情報45を入力する（図4も参照）。顧客情報45が入力されると写真撮影受付プログラムによりその顧客情報45が登録され（S. 2）、顧客データベースが構築されてその顧客Xに顧客識別情報としての顧客ID32が割り当てられる（S. 3）。また、この撮影注文に対応する注文番号としてのDP袋ナンバー32aも割り当てられる。

【0028】顧客Xが撮影のために写真館Aに来店すると（S. 4）、管理サーバ3に接続された図示しないICカードレコーダによりICカード5aに顧客ID32が記録されて、そのICカード5aが顧客Xに渡される

（S. 5）。撮影のための衣装6aの着用を希望する場合、顧客XはICカード5aを受け取ると衣装6aを着用する（S. 6）。その衣装には、衣装毎に異なるタグナンバーが記録されたRFIDタグ6aが装着されている。

【0029】ICカード5aをICカードリーダー5に挿入してデジタルカメラ1によってデジタル撮影が行われる（S. 7）。ICカード5aがICカードリーダー5に挿入され、図5に示すデジタルカメラ画像保管管理画面24にて読込開始ボタン33がクリックされると、ICカード5aに記録された顧客ID32が検出され、写真撮影受付プログラムによってその顧客ID32に対応する顧客用のファイルフォルダ34が画像サーバ2内に作成される。このファイルフォルダ34は、顧客Xの撮影画像をそのフォルダ内に記録・保存するためのものであり、例えば顧客Xが様々なポーズで50回程度の撮影を行っても、顧客毎に撮影画像を容易に管理することができる。撮影画像には、それぞれ異なる画像ファイル名が付与されて記録・保存され、例えばそのファイル名は00001、00002のように連続する画像番号であってもよい。

【0030】写真館Aの撮影ステージ近傍には電波送受信機6が備えられている。顧客Xが撮影ステージに上がると、この電波送受信機6が衣装6bに装着されたRFIDタグ6bを検出してそのタグナンバーを受信し、撮影時に顧客Xが着用している衣装6bを特定して識別する。それにより、その顧客Xが着用した衣装6aの情報を管理したり、その衣装6aの使用回数を把握することができ、例えば所定回数使用後にクリーニングし、所定回数クリーニング後にその衣装6aを廃却する等衣装の管理が容易となる。

【0031】衣装を着替えて撮影を行う際は、その間、他の顧客が撮影できるように顧客XはICカードリーダー5からICカード5aを一旦抜き取る。着替えが終了したら、顧客Xは再びICカード5aをICカードリーダー5に挿入して撮影を行う。ICカードリーダー5にICカード5が挿入される度に顧客ID32が検出され、撮影画像はその顧客ID32に関連付けられて、対応するファイルフォルダ34に記録される。したがって、例えば顧客Xが着替えている間に他の顧客が撮影を行っても顧客ID32とその顧客の撮影画像との関連付けが混乱することはない。

【0032】撮影が終了すると、画像サーバ2内の撮影画像の読み出しを行う（S. 8）。図6に示す写真撮影受付プログラムの画像選定・注文データ作成画面25において、ICカード読込みボタン35がクリックされると、ICカード5aから顧客ID32が読み込まれ、顧客ID32に対応するファイルフォルダ34が自動的に特定される。その後、撮影日35a等の抽出条件を指定してセレクト開始ボタン35bがクリックされるとその

顧客ID32に対応するファイルフォルダ34から抽出条件に合致した撮影画像が自動的に抽出されて読み出される。読み出された撮影画像は、図7に示すようにPCモニタ4にサムネイル画像として一覧表示される。

【0033】ここで、着用した衣装毎あるいは撮影ポーズ毎にデジタル撮影画像のグループ分けを行う。具体的には図7に示す一覧表示画面26において、1つのグループ（図7においてはBグループ）へのグループ分けを希望する先頭画像36aと最終画像36bとを選択し、決定ボタン37をクリックすることにより、先頭画像36aから最終画像36bまでの画像が1つのグループにグループ分けされる。

【0034】この操作を繰り返して撮影画像をそれぞれグループ分けした後、全グループ分け終了ボタン38に続きベストショット決定画面表示ボタン39をクリックされると、図8に示すベストショット決定画面27がPCモニタ4に表示される。ここでベストショットとは、1のグループにグループ分けされた撮影画像の中から顧客Xが写真プリント作成を希望すべく選択する撮影画像のことである。

【0035】このベストショット決定画面27では、表示選択ボタン40aを選択することにより、同時にPCモニタ4に表示できる画像数を変更することができる。例えば、図に示すように同時に2コマの撮影画像36c、36dを表示させて見比べつつ顧客Xが撮影画像36cの方がより良いと判断した場合、撮影画像36dの代わりにBグループから新たな撮影画像を表示させて再び見比べる。このようにより良い方の撮影画像を順次選択しつつ最終的に最も良いと思われるベストショット画像を選択する（S.9）。このベストショット画像の選択においては、顧客Xが撮影画像を確認しつつ容易に選択できるように、PCモニタ4とともに大画面モニタ7にもベストショット決定画面が表示されるようになってい

る。

【0036】それぞれのグループ毎のベストショット画像選択の完了後、製品選択画面表示ボタン40bがクリックされると、図9に示す製品選択画面28が表示される。この製品選択画面28では、選択されたベストショット画像41a～41dが画像表示手段により読み込まれて画面の左側に一覧表示される。このベストショット画像41a～41dは、サムネイル画像であってもよい。また、画面の上部には、予め保存手段に保存されている写真装飾枠画像42a～42dも写真装飾枠画像表示手段により表示される。写真装飾枠画像は、記念写真の製品形態としてベストショット画像の周囲を装飾するための写真枠の画像であり、例えば、デジタルポストカード用のテンプレート画像42a、42bや台紙画像42c、42d等がある。テンプレート画像42a、42bは、その枠内にベストショット画像を嵌め込んで嵌め込み画像とし、テンプレート画像42a、42bとベ

ストショット画像とをともにプリントして作成された写真プリントを製品とする。台紙画像42c、42dは、その枠内にベストショット画像を嵌め込んで画像レイアウトを確認するためのもので、製品としてはベストショット画像に基づいて作成された写真プリントを台紙画像に対応する台紙に貼り付けて提供される。また、保存手段としては画像サーバ2または管理サーバ3のどちらを用いてもよい。製品選択画面28の略中央部は、嵌め込み画像作成エリア28aとなっている。顧客Xが例えば3面台紙の台紙付き記念写真を希望している場合、写真仕上がり写真枠画像42a～42dの中から3面台紙の台紙画像42cを選択して（S.10）クリックすると、その台紙画像42cが嵌め込み画像作成エリア28aに拡大表示される。この台紙画像42cを選択すると、台紙画像42cの情報に基づいて、その台紙に使用する写真プリントの枚数やサイズから顧客Xの写真撮影料金を示す料金情報が作成される（S.11）。製品選択画面28の左側に表示されたベストショット画像41a～41dの中から、この台紙画像42cに嵌め込む画像を選択し、嵌め込み画像作成手段により嵌め込み画像43を作成する（S.12）。この台紙画像42cは3面台紙であり、3枚の画像を嵌め込むことができるので、ベストショット画像41b、41c、41dの3枚の画像を選択する。具体的には、ベストショット画像41b、41c、41dをそれぞれマウスでドラッグして画像嵌め込み部43b、43c、43dの位置でドロップして嵌め込み画像43を作成する。ベストショット画像41b、41c、41dを画像作成エリア28aで台紙画像42cに嵌めこんだ後、画像嵌め込み部43cのベストショット画像をダブルクリックすると、図10に示す画像位置調整画面29が表示される。この画像位置調整画面29上では上下左右ボタン29a、回転ボタン29b、拡大縮小ボタン29cをマウスでクリックすることにより台紙画像42cに対するベストショット画像の上下左右位置、回転角度位置、画像倍率等の位置調整をすることができるようになっている（S.12）。また、ベストショット画像をマウスでドラッグすることにより、直接上下左右位置を調整することもできる。ベストショット画像が位置調整されると、レイアウト情報作成手段により嵌め込み画像の情報からレイアウト情報が作成される（S.13）。このレイアウト情報は、ベストショット画像41b、41c、41dがそれぞれ台紙画像42c内に嵌め込まれた際の上下左右位置、回転角度位置、ベストショット画像41b、41c、41dの画像倍率を示す情報であり、データ容量を小さくするために文字情報としての数値データで構成される。画像嵌め込み部43b、43c、43dのそれぞれについて、ベストショット画像の位置調整が完了した後、オーダ情報確認画面表示ボタン44をクリックすると、図11に示すオーダ情報確認画面30が表示される。このオーダ情



報確認画面30には、顧客ID32に関連付けられて顧客Xの名前31、顧客の家族の名前31a等の顧客情報45、注文番号としてのDP袋ナンバー32a、台紙画像42cの情報46、ベストショット画像41b、41c、41dの情報47等が表示される。これらの情報を確認した後、確定ボタン48をクリックすると、顧客ID32に関連付けられて、オーダ情報作成手段によりオーダ情報が作成される(S.14)。このオーダ情報には、顧客情報45、DP袋ナンバー32a、台紙画像42cの情報46、ベストショット画像41b、41c、41dの情報47の他、図示しないレイアウト情報、料金情報も関連付けられて含まれる。また、ベストショット画像41b、41c、41dの画像データもこのオーダ情報に関連付けられる。オーダ情報が作成されると、管理サーバ3内の送信手段により、インターネットWを介して現像所BのWebサーバ11に向けてこのオーダ情報が送信される(S.15)。それとともにオーダ情報に関連付けられてベストショット画像41b、41c、41dの画像データもWebサーバ11に向けて送信される。Webサーバ11がこのオーダ情報を受信すると、現像所BではPCモニタ11aに図12に示すようなオーダ画面50が表示される。このオーダ情報に含まれる台紙画像42cの情報46、ベストショット画像41b、41c、41dの情報47、レイアウト情報中の画像倍率等及びこのオーダ情報に関連付けられたベストショット画像41b、41c、41dの画像データを用いて写真プリンタ12によって所望サイズの写真プリント48が作成される(S.16及び図1も参照)。作成された写真プリント48は、加工センターCに送られる(S.17)、加工センターCによって台紙画像42cに対応する台紙への貼り付け加工が行われて台紙付き記念写真49が作成される(S.18)。加工センターCにはパソコン21が備えられ、インターネットWを介して現像所BのWebサーバ11にアクセス可能となっている。加工センターCのパソコン21によってWebサーバ11にアクセスしてこのオーダ情報に含まれるレイアウト情報を閲覧することにより、加工センターCでは、台紙上へ写真プリント48を貼り付ける際の上下左右位置、回転角度位置が容易に把握でき、確実にかつ簡単に貼り付け作業を行うことができる。加工センターCによって作成された台紙付き記念写真49が写真館Aに送られる(S.19)。ここで、顧客Xが台紙付き記念写真の他に、バリエーションプリント51の作成も希望している場合は、現像所Bにおいて写真プリント48の作成と並行してベストショット画像41b、41c、41dの画像データを用いつつバリエーションプリント51の作成も行われる(S.20)。写真プリント48の作成とバリエーションプリント51の作成とを並行して行うことができるので、短納期とすることができる。このバリエーションプリント51は、例えば写真カレンダー

ーやデジタルポストカードのように加工センターCでの加工が不要である場合は現像所Bから直接写真館Aに送られる(S.21)。台紙付き記念写真49、バリエーションプリント51を受け取った後、写真館Aは、直接手渡し、又は宅配便による配送によって顧客Xにそれらを渡す(S.22)。オーダ情報には料金情報も含まれているので、写真館Aは顧客Xの写真撮影の料金を簡単に確認することができる。また、オーダ情報がWebサーバ11に送信されるので、現像所Bや加工センターCもより顧客Xの写真撮影の料金を把握することが可能となる。なお、上記では、顧客ID32をICカード5aに記録するとともにICカードリーダー5によって検出し、また衣装6aにRFIDタグ6bを装着して電波送受信機6によってそのタグナンバーを検出している。しかしながら、これらのものは識別符号を記録できる記録媒体とその記録媒体から識別符号を検出できる検出器との組合わせであれば他のものでもよく、例えば顧客IDやタグナンバーをバーコードまたは磁気情報としてバーコードカードや磁気カードに記録し、バーコードセンサや磁気情報読取装置によってそれらを検出するものであってもよい。また、画像記録手段としての画像サーバ2と管理サーバ3とをそれぞれ別のものとしているが、もちろんの保存手段を画像サーバ及び管理サーバとして使用してもよい。

【変形例】この実施の形態1においては、一覧表示画面26により撮影画像をグループ分けし、ベストショット決定画面27によりベストショット画像を選択しているが、ベストショット画像が予め分かっている場合は、図13に示す画像番号入力画面52において、顧客ID32を入力するとともにベストショット画像の画像番号52a、52b、52cを指定して入力してもよい。

【0037】画像番号52a、52b、52cを指定して入力し、画像取り込み開始ボタン53をクリックすることにより、その顧客ID32に対応するファイルフォルダ34から画像番号52a、52b、52cに対応する撮影画像が読み出される。それにより、撮影画像のグループ分けを行ったり、ベストショット画像を見比べつつ選択する必要がなくなり、読み出されたベストショット画像を用いて効率的に嵌め込み画像を作成することができるので、作業が効率的なものとなる。また、この実施の形態1においては、オーダ情報を現像所BのWebサーバ11に向けて送信手段により送信しているが、加工センターCもWebサーバを有している場合は現像所BのWebサーバ11とともに加工センターCのWebサーバに向けてオーダ情報を送信してもよい。また加工センターCが電子メールアドレスを有している場合は、その電子メールアドレスに向けて電子メールにオーダ情報を添付して送信してもよい。それにより、加工センターCも早期にオーダ情報を確認することができ、加工スケジュールを早期に立てることが容易となる。結果的



に、効率的に台紙への貼り付け加工を行うことができ、短納期とすることができる。この実施の形態1においては、顧客Xが台紙付き記念写真を希望した場合を示したが、顧客Xがデジタルポストカードの作成を希望したような場合は、例えば写真装飾枠画像のうちテンプレート画像42aが選択される。このような場合、そのテンプレート画像42aにベストショット画像が嵌め込まれた嵌め込み画像もオーダー情報とともに顧客ID32に関連付けて現像所BのWebサーバ11に向けて送信すると、その嵌め込み画像を用いて写真プリンタ12によって、デジタルポストカードを作成することができる。作成されたデジタルポストカードを加工センターCで加工する必要がない場合は、現像所Bから直接写真館Aに送られる。

#### 【0038】

【発明の効果】以上説明したように、本願の請求項1に係る発明によれば、顧客毎にデジタル画像を管理することが容易となり、また、その場で表示画面を確認しつつ簡便に所望のデジタル画像を選択することもできる。作成されたオーダー情報を確認することにより、その顧客によって選択されたデジタル画像を確実に特定することができるので、注文ミスを防止することができるうえに、選択された画像の詳細な特徴を注文書にわざわざ記載する必要もなく、写真撮影受付の手間や時間を短縮することができる。例えばこのオーダー情報をインターネットを介して写真撮影所から現像所のWebサーバに送信した場合や、このオーダー情報を光磁気ディスク(MO)等の記録媒体に記録して現像所に送った場合は、現像所はそのオーダー情報を確認することにより選択されたデジタル画像を早期に確実に特定することができ、注文ミスを防止することができるとともにその選択されたデジタル画像を用いて早期に写真プリントを作成することもできる。デジタル画像を用いて写真プリント作成を行うので、顧客によりバリエーションプリントの作成も併せて注文されている場合、写真プリントとバリエーションプリントとを並行して作成することができるので、プリントの仕上がりを短納期とすることもできる。請求項2にかかる発明によれば、その場で表示画面を確認しつつ、選択されたデジタル画像の上下左右位置・回転角度位置・画像倍率等を調整しながら簡単に嵌め込み画像を作成することができる。

【0039】請求項3にかかる発明によれば、作成されたオーダー情報に含まれるレイアウト情報により、顧客によって選択されたデジタル画像の写真装飾枠画像内での上下左右位置・回転角度位置・画像倍率等のレイアウトを確認することができる。レイアウト情報を数値データとして構成すれば、嵌め込み画像よりも小さいデータ容量でレイアウトを確認することができる。レイアウト情報を含むオーダー情報のデータ容量も小さくできるので、インターネットを介して写真撮影所から現像所のWeb

サーバに簡便に送信でき、現像所はそのレイアウト情報を確認しつつ写真プリントを作成することができる。顧客が台紙付き記念写真を注文した場合は、写真プリントの台紙への貼り付け加工を行ういわゆる加工センターも、現像所のWebサーバにアクセスすることによってそのオーダー情報に含まれるレイアウト情報を確認しつつ写真プリントの台紙への貼り付け加工を行うことができる。

【0040】請求項4にかかる発明によれば、作成されたオーダー情報に含まれる料金情報によりその顧客の写真撮影の料金を確認することができ、写真館においても料金管理が容易となる。インターネットを介して写真撮影所から現像所のWebサーバにオーダー情報を送信した場合は、現像所においても料金情報を把握することができ、加工センターが現像所のWebサーバにアクセス可能な場合は、加工センターでも料金情報を把握することができる。

【0041】請求項5にかかる発明によれば、顧客が撮影の際に着用した衣装やその衣装の使用回数を管理することもできる。

【0042】請求項6にかかる発明によれば、顧客識別符号を自動的に検出して簡便に確実に顧客識別符号を管理することができ、ひいては顧客識別符号に関連付けられたオーダー情報をその顧客毎に管理することも容易となる。請求項7にかかる発明によれば、選択されたデジタル画像をオーダー情報により早期に確実に特定することができ、現像所は注文ミスを防止しつつ確実にかつ早期に写真プリントを作成することができる。顧客によりバリエーションプリントの作成も併せて注文されている場合は写真プリントとバリエーションプリントとを並行して作成することができるので、プリントの仕上がりを短納期とすることもできる。

【0043】請求項8に係る発明によれば、顧客毎に顧客をデジタル撮影したデジタル画像を管理することが容易となる。その場で表示画面を確認しつつ簡便に所望のデジタル画像を選択してその上下左右位置・回転角度位置・画像倍率等のレイアウトを調整しながら簡単に嵌め込み画像を作成し、その嵌め込み位置を示すレイアウト情報を簡便に作成することもできる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1にかかる写真プリント作成方法に用いられるシステムの概略構成を示す図である。

【図2】本発明の実施の形態1にかかる写真プリント作成方法を説明するためのフローチャートである。

【図3】本発明の実施の形態1にかかる写真プリント作成方法を説明するためのフローチャートである。

【図4】この写真撮影受付プログラムの顧客データ登録画面の例を示す図である。

【図5】この写真撮影受付プログラムのデジタルカメラ

画像保管管理画面の例を示す図である。

【図6】この写真撮影受付プログラムの画像選定・注文データ作成画面の例を示す図である。

【図7】この写真撮影受付プログラムの一覧表示画面の例を示す図である。

【図8】この写真撮影受付プログラムのベストショット決定画面の例を示す図である。

【図9】この写真撮影受付プログラムの製品選択画面の例を示す図である。

【図10】この写真撮影受付プログラムの画像位置調整画面の例を示す図である。

【図11】この写真撮影受付プログラムのオーダー情報確認画面の例を示す図である。

【図12】現像所のWebサーバに表示されるオーダー画面の例を示す図である。

【図13】本発明の変形例にかかる写真撮影受付プログラムの画像番号入力画面の例を示す図である。

# 【符号の説明】

A：写真館（写真撮影所）

W：インターネット

X：顧客

1：デジタルカメラ（デジタル画像撮影手段）

2：画像サーバ（画像記録手段、保存手段）

3：管理サーバ（保存手段）

4：PCモニタ（表示手段）

5：ICカードリーダ（顧客識別符号検出手段）

5a：ICカード

6：電波送受信機（衣装識別符号検出手段）

6a：衣装

6b：RFIDタグ

11：Webサーバ

23：顧客データ登録画面

24：デジタルカメラ画像保管管理画面

25：画像選定・注文データ作成画面

26：一覧表示画面

27：ベストショット決定画面

28：製品選択画面

29：画像位置調整画面

30：オーダー情報確認画面

32：顧客ID（顧客識別符号）

41a, 41b, 41c, 41d：ベストショット画像（選択されたデジタル画像）

42a, 42b：テンプレート画像（写真装飾枠画像）

42c, 42d：台紙画像（写真装飾枠画像）

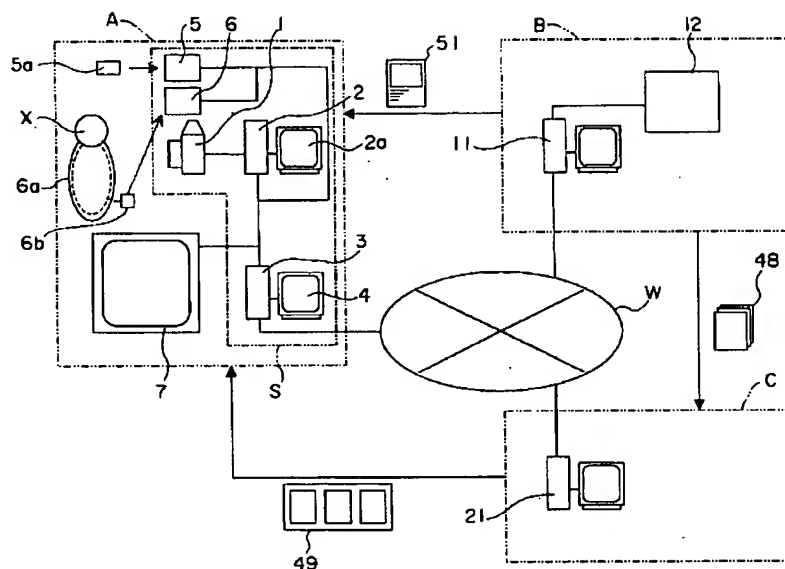
43：嵌め込み画像

45：顧客情報

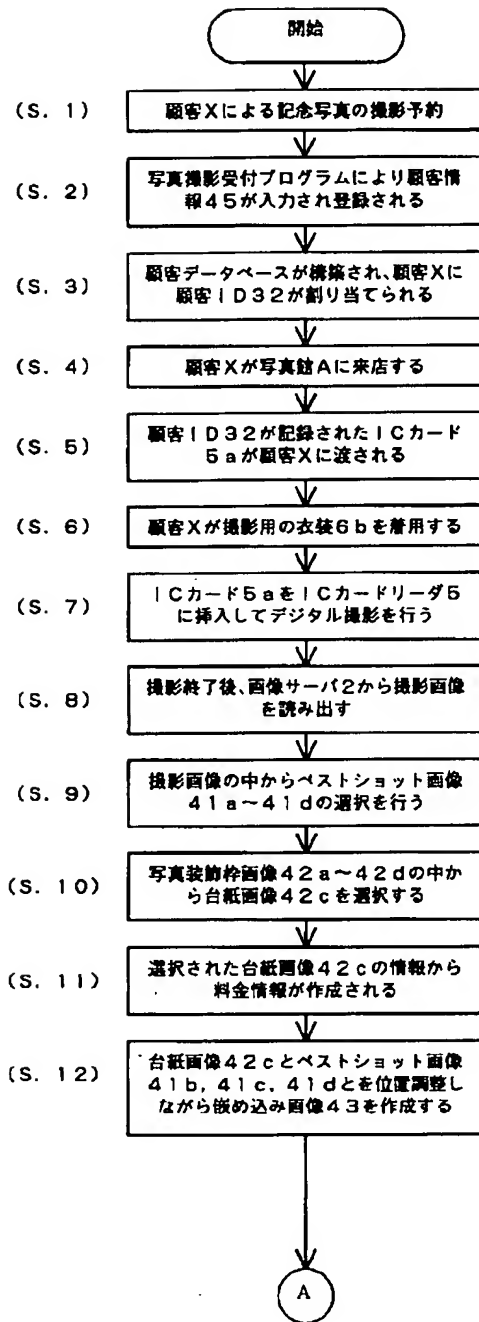
46：台紙画像の情報（選択された写真装飾枠画像の情報）

47：ベストショット画像の情報（選択されたデジタル画像の情報）

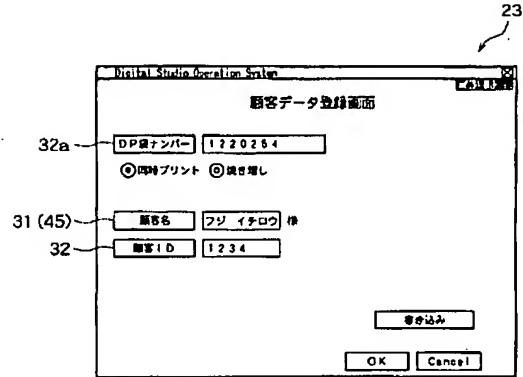
【図1】



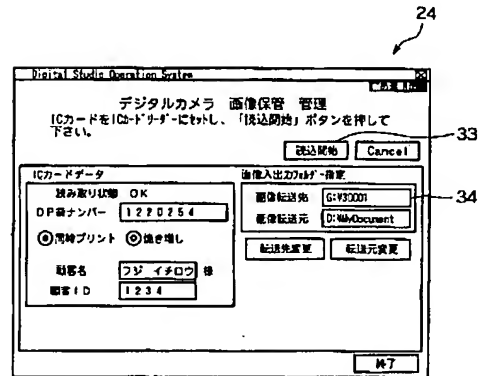
【図 2】



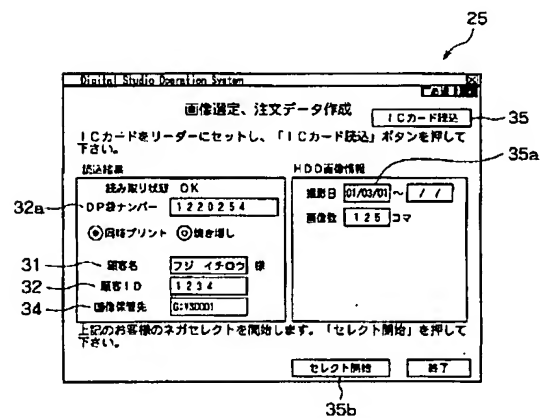
【図 4】



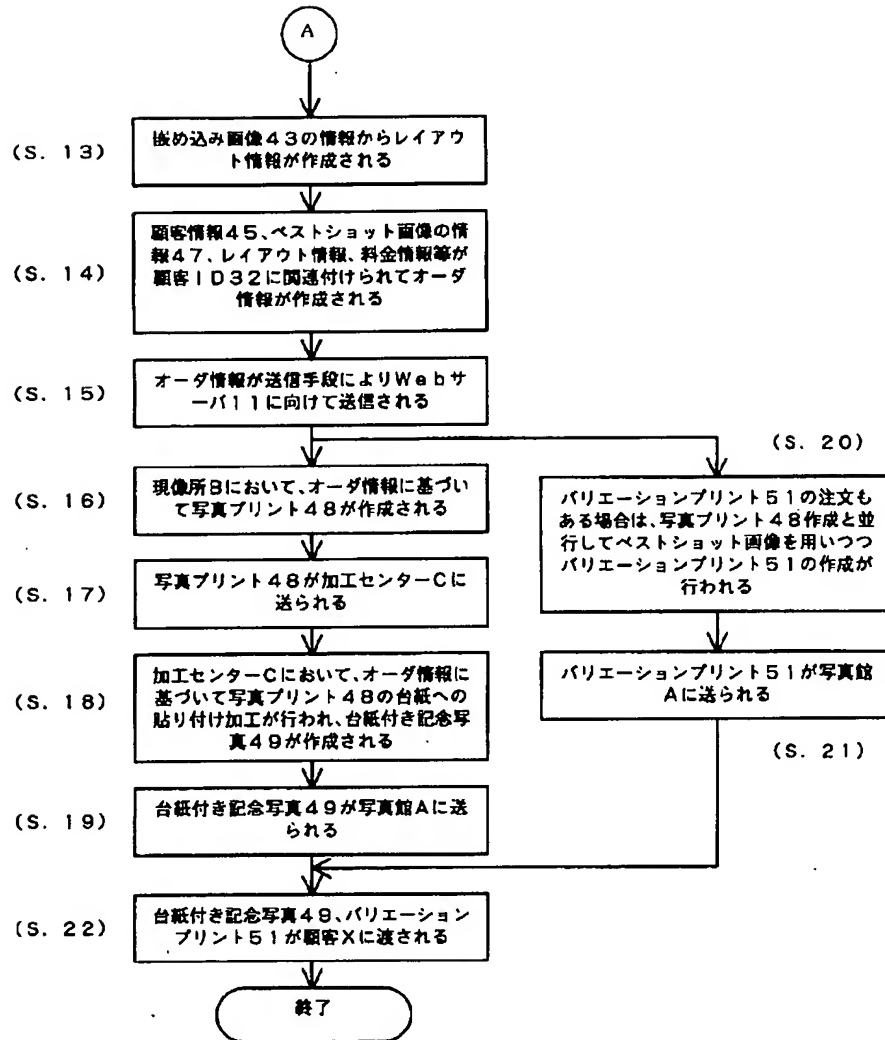
【図 5】



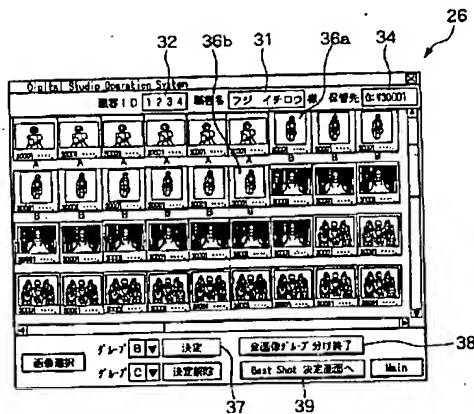
【図 6】



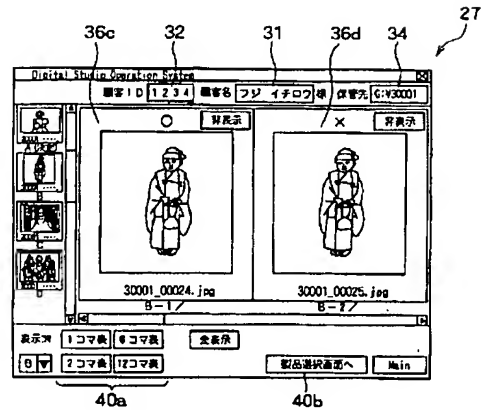
【図3】



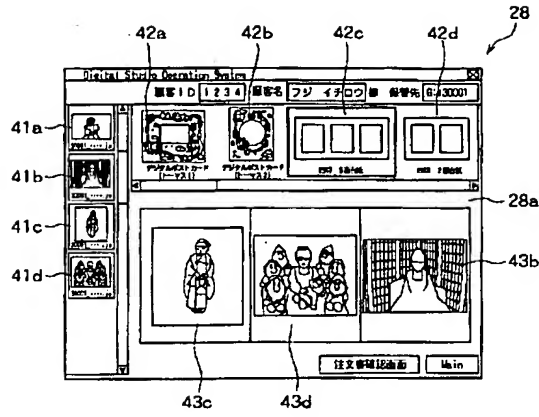
【図7】



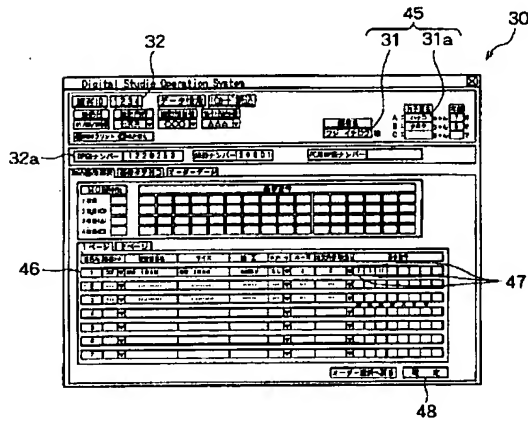
【図8】



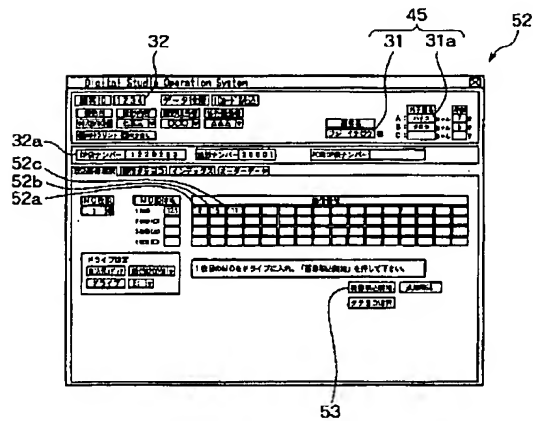
【図 9】



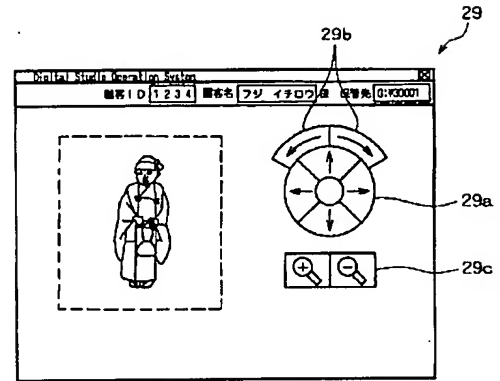
【図 11】



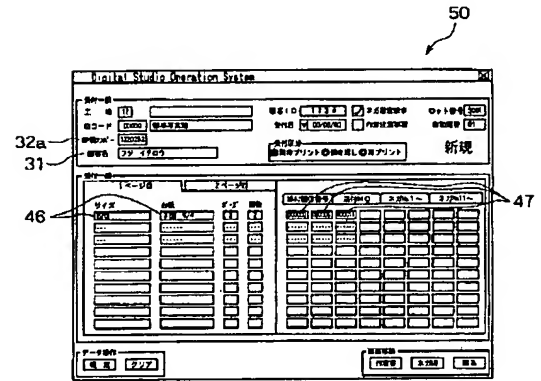
【図 13】



【図 10】



【図 12】



フロントページの続き

F ターム(参考) 2H106 AA62 AA66 AB04 BA95  
5C052 AA01 AA02 AB04 DD04 EE03  
FA02 FA03 FA07 FB01 FB05  
FC06 FD08 FD09  
5C053 FA06 FA08 FA14 FA23 FA24  
JA21 LA01 LA03 LA11 LA14  
5C054 AA05 CA04 CC03 CE16 DA01  
DA08 EA01 FA01 FD07 FE17  
FE23 GA01 GA02 GA05 GB02  
HA00 HA14

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**